

# 山口七夕会通信

VOL. 30  
2018年  
1月26日

発行：山口市七夕会事務局  
(山口市企画経営課内)  
山口市亀山町2番1号  
TEL：083-934-2746  
FAX：083-934-2642



## ～今ひとたび、原点、初心に立ちかえって！～

新しき年を迎え、会員のみなさまには益々ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

山口七夕会は、東京都世田谷区で開催された「ふるさと区民まつり」で、「山口七夕ちゃん」を出展した、山口と東京の人の絆で祭りに集った山口市ゆかりの人々の会として平成11年(1999年)に設立されました。

平成21年(2009年)の設立10周年を機に体制を一新して、翌年には平成32年(2020年)をめざす10年計画である「山口七夕会2020ビジョン」を策定しました。さらに、5年を経過して、「チャレンジプラン2015 to 2020」によってビジョンを改訂し目標の達成に努めてきました。今年は、「2020ビジョン」の目標の年をめざす仕上げの三ヶ年計画を会員のみなさまの叡智を結集して、夏の定時総会に諮りたいと考えています。

さて、今年は、明治維新150年の節目の年ですが、来年には山口七夕会も設立20周年を迎えますので、そこに向けて今年は大変な年でもあります。

私たちは、今ひとたび、初心、原点に立ち帰って、東京と山口を両軸として、山口七夕会の会則にも書かれているとおり、①会員相互の親睦 ②ふるさと山口市との密なる連携 ③ふるさと山口市の発展に貢献する、以上の3つを大切に活動を展開して参りますので、今年も引き続き会員のみなさまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

新しい年が、みなさまにとりまして、素晴らしい一年となりますようにお祈り申し上げます。

平成30(2018)年1月

山口七夕会  
会長

八木 健二

## 目次

- 八木会長/新年挨拶/目次/重要なお知らせ.....1
- 丸の内プラチナ大学「ヨソモノ街おこしコース」～山口の熱い人材と交流する旅～【東京から山口】.....2～3
- 平成29年度山口本部「秋の講演・交流会」【山口】<11月25日(土)>【報告】.....4
- 平成29年度東京本部「秋の講演・交流会」【東京】<11月11日(土)>【報告】.....5
- 『山口蘭子ふるさとコンサート 2017』【山口】＝協力事業＝<11月5日(日)>【報告】.....6
- 東京でやまぐちフェスタ2017「三茶で食べちゃろ祭り」に参加して！.....7
- 大人の社会科見学「防衛省」とお花見ウォーク(お知らせ)【東京】.....8
- 進め山口 気持ちは一つ！ -J1への片道切符発売中-【東京】.....9
- <参考:会員の推移>/平成29年度入会者/平成29年度法人会員.....10

＝七夕会通信の他に、次のものも同封して送らせていただきました。ご確認ください。＝

○市報「やまぐち」(10月、11月、12月、1月1日号) ○山口市ふるさと納税マガジン ○山口ゆめ花博チラシ

○会費滞納における取り扱い変更と会費納入状況のお知らせ<山口七夕会事務局>

○別紙⇒3月10日(土) 東京本部「春の講演会・交流会」(案内)&裏面「出欠連絡票」＝東日本の会員

※裏面「出欠連絡票」に、①大人の社会科見学「防衛省」(市ヶ谷地区見学・市ヶ谷台ツアー)先着20名

②「お花見ウォーク」の参加連絡票

○別紙⇒2月11日(日)山口本部「冬の徳佐を楽しむ会(山口七夕会・楽農部会・収穫祭)」＝西日本の会員

○別紙⇒3月10日(土)「第2回 酎-Takenawa-祭」(案内)&裏面「出欠連絡票」＝西日本の会員

### 【重要なお知らせ】

○転居されるご予約のある方は…転居予定日、転居先を任意の様式でかまいませんので、下記までご連絡ください。(市報等の資料が届かなくなってしまう！)

○退会を希望される方は…退会されるのは残念ですが、任意の様式でかまいませんので、下記までご連絡くだ

さい。(会員録の整理などの事務処理に必要となります)

〒753-8650 山口市亀山町2番1号

山口七夕会事務局(山口市企画経営課内)

TEL 083-934-2746/FAX 083-934-2642

丸の内プラチナ大学「ヨソモノ街おこしコース」～山口の熱い人材と交流する旅～

山口市に縁もゆかりもない公認会計士や建築家が、東京近郊を走る電鉄会社の副室長が、神奈川に拠点を置く百貨店の常務が、山口市の活性化に知恵を絞り、侃々諤々論議を交わす。そんなぶち熱い時間を過ごしてきました。

山口市生涯活躍のまち地域再生協議会。梶山も七夕会東京本部長として、協議会の委員を委嘱されています。この協議会を仕切るのは、山口市ふるさと創生部の創生推進課。その創生推進課が、山口市の地方創生に関わっている三菱総合研究所のプラチナ社会研究会と協力して、昨年8月に丸の内プラチナ大学(※1)「ヨソモノ街おこしコース ー山口市編ー」を東京で開催。30～60代のビジネスパーソンが、山口市活性化のためのビジネスプランを考えました。



(※1) 丸の内プラチナ大学とは、課題先進国である日本が課題解決先進国となるために目指す新たな社会像(プラチナ社会)の実現に向けた、現代社会人を対象とするキャリア講座。その目的は、新たな学びと挑戦の場をサポートすることと、リアルな「社会課題」に取り組むことにある。

そして、さる1月13日～14日(※2)、山口市熱の冷めやらぬ「ヨソモノ街おこしコース」受講生有志14名が、実際に山口市を訪れ、歴史や文化に触れながら、熱い人材と交流するフィールドワークに参加し、梶山も羽田空港から同行しました。(※2) 行程表をご参照ください。

行程1日目 (1月13日)			
時間	行程	場所	内容
10:00	羽田空港 搭乗口集合		10:30 羽田空港 出発予定
12:15	山口宇部空港 到着		バス車内にて概要説明
13:15	昼食 瑠璃光寺五重塔【視察】	香山公園	長州苑にて、本場の瓦そばをどうぞ!
14:10	歴史とまちなみを活かした大殿地域のまちづくり【フィールドワーク】	大殿地域	大殿地域の熱い人材、NPO山口まちづくりセンター・小山センター長、ひわだや佐々木社長との街歩きで、山口の雰囲気を感じてください。
16:00	ホテルチェックイン	ホテル	ホテルニュータカにて
16:30	山口商工会議所・ライフスタイル委員会への出席【ビジネスプラン発表】	"	山口商工会議所が運営するライフスタイル委員会にて、ビジネスプランを発表いただきます。優秀プラン4案は2日目、市長プレゼンにて発表いただきます!
18:00	交流会	"	
20:00	交流会終了	"	
20:00	湯田温泉での自由行動	湯田温泉	寒い中ではありますが、温泉文化の根付いた地域をお楽しみください。

行程2日目 (1月14日)			
時間	行程	場所	内容
08:30	ホテルロビー集合	ホテル	8:45 バスで出発予定
09:00	商店街の熱い人材との意見交換とアイデア提案【フィールドワーク+ミニWS】	やまぐち創業応援スペース mirai365	商店街振興に取り組み熱い人材、川口理事長、弘中執行役員との交流を通じ、地域課題の「現場」を体感してください。
11:00	山口市菜香亭【視察】	山口市菜香亭	多くの文人・政治家が親しんだ施設です。
11:30	市長報告会・昼食会	"	前日選ばれた方には、市長にビジネスプランを発表いただきます。その後、昼食を囲んでの懇親をお楽しみください。
13:30	YCAM【視察】	YCAM	文化・情報芸術拠点のYCAMの視察、ラボスタッフからの紹介を通じて、山口市が持つ多様な魅力と課題を感じてください。
15:15	現地ツアーへの振り返り【ミニWS】	"	ワークシートへの記入を通じて、2日間で体験したこと・考えたことを参加者全員で振り返ります。
15:45	バスにて山口市内を出発		
16:45	山口宇部空港 到着		17:40 山口宇部空港 出発予定
19:10	羽田空港 到着		

山口宇部空港からは一路香山公園へ。山口商工会議所・河野康志会頭の熱い出迎えを受け、瓦そばを中心とした昼食の後は河野会頭自らの案内で、まだ雪の残る瑠璃光寺五重塔を見学。続けて大殿地区を訪れ、五重塔とも縁のあるひわだの魅力とその伝統工芸継承について、ひわだや・佐々木真社長から直接解説を受けます。テレビでも取り上げられた佐々木社長が、竹釘をひわだに打ち付ける様子にヨソモノは息をのむばかり。ツアー前半から、山口市の伝承文化に引き込まれていきます。



その後宿泊先に移動したヨソモノは、商工会議所のライフスタイル委員会に出席。山口市を元気にする、各自のビジネスプランを披露しました。宮川和也・ライフスタイル委員長、商工会議所の川久保賢隆・副会頭をはじめとする委員から相次いだ質問と意見交換は、懇親会の席まで途絶えることなく続きました。懇親会で山口の地酒やふくを堪能したヨソモノは、夜の湯田温泉へ繰り出します。狐の足あとで足湯に浸りながら地酒の盃を傾けると、アイデアが湯のように沸いてきます。足湯麻雀、足湯会議、足湯シアターなど。その後も夜の街おこしは続き、ヨソモノは湯田温泉を日付が変わるまで楽しみました。



翌日、ヨソモノが訪れたのは、道場門前商店街経由 mirai365。そこでは米屋町商店会の川口雄一郎・理事長や女性創業応援山口株式会社の弘中明彦・執行役員を交え、ヨソモノが商店街振興のためのアイデアを出し合いました。近いうちにそのアイデアが実現し、中心商店街が一段と活気を増す。そんな日が来ることを夢見たひと時でした。

そしてヨソモノは、最後の目的地である YCAM を訪問。表からの見学にとどまらないバックヤードツアーに、ヨソモノのテンションは高まります。何せ地元モノの私ですら、初めて見る舞台裏ですから。それにしても、山口市の古い歴史や文化を代表する瑠璃光寺やひわだから始まったツアーが、近代的で未来の山口市につながる YCAM で終わる、この素敵なシナリオを作った創生推進課の皆さんに脱帽です。



さて、ここまで書くと皆さんは気づかれたことでしょうか。そうです、彼らはもうヨソモノなんかではありません。生粋の山口市出身者よりも山口市のことを、山口市の街や人のことを考え、熱く語る、地元モノ以上の地元モノです。山口市の明日を、将来を、地元のメンバー中心に地元で考えることはもちろん必要ですが、それだけでは限界があります。今回のような新たな出会い、交流を生かすことが、元気な山口市づくりを後押ししてくれることでしょうか。私もこうした熱い方々との絆を山口市のファンづくり活動や東京圏でのネットワーク拡充に生かし、山口市の地方創生のために更に熱く取り組む意を強くした、ぶち熱い二日間でした。

次に向かったのは菜香亭。山口にゆかりの先人・偉人たちの書に目を奪われ、佐藤部屋では、座ると出世するという佐藤元首相愛用の椅子が奪い合いに。そして前日発表されたビジネスプランの中から四つのプランが選ばれ、山口市の伊藤和貴副市長へのプレゼンが実施されました。副市長もうなるばかりのプランが、山口市に採用される日も近いことでしょう。昼食も菜香亭にて。阿東徳佐の地球食堂より取り寄せた地元感満載の食事と、とくち健康茶企業組合提供のカワラケツメイ茶は、あつという間にヨソモノの胃袋へ。

なお、ぶち分かりやすいバスガイドまで務めていただいた川久保副会頭をはじめ、本企画に携わられた方々のご尽力に対し、末筆ながら厚く熱く御礼申し上げます。

(幹事/東京本部長 相山俊哉)

## 平成29年度山口七夕会山口本部「秋の講演・交流会」【山口】

平成29年11月25日(土)18時より、山口市湯田温泉「西の雅 常盤」において、山口七夕会山口本部「秋の講演・交流会」を開催しました。

はじめに瀬川本部長より開会挨拶、続いて伊藤副市長より来賓挨拶がありました。その後、山口市都市整備課山口ゆめ花博推進室の河口室長より平成30年9月14日～11月4日に開催される明治維新150年記念事業「第35回全国都市緑化やまぐちフェア 山口ゆめ花博」の説明がありました。イベント期間中は、山口きらら博記念公園を会場に、様々な企画(1000万の山口県の花、日本一高いブランコ、日本一長い竹のコースター等々)が用意されており、来場者数は50万人以上を目標としています。本イベントにつきましては、会員の皆様におかれましても県内外に向けたPR活動に是非とも御協力をお願いできればと思います。

講演会では「勤王の女流歌人 野村望東尼の生涯」というタイトルで、NPO法人防長史楽会理事長の松前了嗣先生よりお話しいただきました。

野村望東尼といえば、特に高杉晋作の辞世の句「おもしろき こともなき世を おもしろく」の下の句を詠んだことで有名ですが、その62年の生涯の中で、高杉晋作(東行)をはじめ、数多くの維新の志士達に与えた影響は大きく、



【瀬川本部長/挨拶】



【伊藤副市長/挨拶】



【松前了嗣/講師】

彼らの精神的な支柱として重要な役割を果たしています。しかしながら、意外にその名は世間には知られていません。

今回、松前了嗣先生には、野村望東尼に関する様々な史料の紹介を交え、その生涯について非常にわかりやすく、また面白くお話しいただきました。

山口県においては、来年度の明治維新150年を記念した様々なイベントが今後、華やかに行われる予定ではありますが、歴史の表舞台で活躍した人物は勿論、歴史の裏側で彼らと同様に命を懸けて明治維新という偉業を支えた様々な人物の人生にも歴史の光が当たることを願っているところです。

さて、講演会終了後は、会場を移動して会員交流会が行われました。福田百合子先生の乾杯挨拶に始まり、恒例のじゃんけん大会、庄栄一郎会員によるダンス、中村晃子さんの歴史紙芝居、大田哲夫会員による演劇(?)等々、当日は47名の参加で大いに盛り上がり、お開きは吉田正治顧問の挨拶で閉会となりました。



【大田会員のパフォーマンス】

山口七夕会山口本部では、今後も山口市の歴史・文化など様々な魅力を県内外に情報発信し、ふるさと山口市の発展に寄与できる取り組みを進めていければと考えています。



(山口本部事務局長 濱野 文彦/記)

平成 29 年度山口七夕会東京本部「秋の講演・交流会」【東京】

平成 29 年 11 月 11 日(土)11 時から初めての会場で、会員の中島社長(ベアーズコーポレーション(株))の経営する『やまぐち山海の恵み別邸 福の花 浜松町店』で開催しました。

梶山東京本部長の司会進行で始まり、開会にあたり八木会長から、商社マンとして世界やアメリカの第一線で活躍されてきた講演会講師の高木さんの紹介から、日々の生活に切っても切れないエネルギーの話を中心とする講演に期待を示されました。また、『このような会員のみなさまの経験や知識を山口七夕会の会員のみなさまに共有いただくことは新しい挑戦です。今後も会員のみなさまの講演や卓話を期待しています。今日は忘年会には早いですが、今年最後の例会、教養を高めた後は、会員相互の親睦を図ってください。』と挨拶を結ばれました。

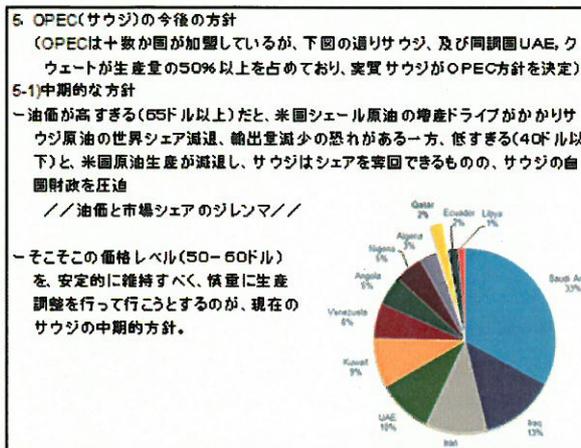
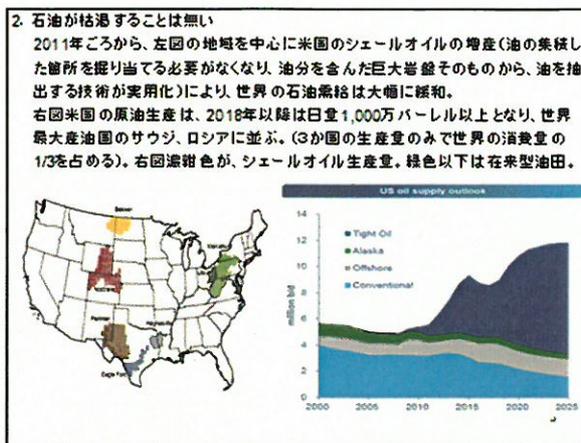


【講師の高木俊彦氏と会場の様子】

講演会は、「意外な世界石油事情と今後の動向」と題して、高木俊彦氏(前・三井物産/エネルギー第一本部、京都大学卒、山口高校 79 期)からお話をいただきました。

国際的な原油のフロー図の解説から始まり、石油の埋蔵量、シェールオイルの解説、原油価格の動向、世界の石油需給バランスの現状と予測、OPEC(サウジ)の今後の方針について、最新の情報に基づく解説を展開していただきました。

講演に続く質疑では、興味深い講演の後でしたので、「島国の日本は外からの石油とかエネルギーの調達に依存せざるを得ないが、特定の国や地域に集中した方がいいのか、全方位がいいのか？」など多くの質問が寄せられました。



講演会に続いては、幹事長から今年度の定時総会以降の会務と秋の行事について報告させていただきました。

さらに、関係団体である山口県東京営業本部の伊藤副本部長、永田副本部長から東京における秋の山口県の行事や薩長土肥の連携したイベントについてお話しいただきました。

引き続き、懇親会は、石田副会長の挨拶/乾杯でスタートし、同窓会等からの案内や会員の近況報告を聞きながら会員相互の話の花が咲き、和気あいあいのうちに、武内副会長の締めでお開きとなりました。

(幹事長 山縣 正彦 記)

『山口蘭子ふるさとコンサート 2017』【山口】=協力事業=

毎年NHKホールで開催される国内最大級のシャンソンの祭典「パリ祭」にも出演され、日本を代表する山口市出身のシャンソン歌手、山口蘭子さん（東京在住）が去る11月5日、同市湯田温泉のカリエント山口で「ふるさとコンサート」を開かれました。



「セ・シ・ボン」「愛の賛歌」「枯葉」など耳馴染みのあるシャンソンの名曲やオリジナル曲など 20 数曲をアコーディオンのパトリック・ヌジェさん（奥様が萩市出身）、ピアノの上里知己さん（萩市出身）の伴奏に合わせて熱唱。山口さんは鳴り止まぬ拍手を受けて「歌を通してふるさと山口に恩返しをしたい。皆さんと一緒に歌えて本当に幸せ」と観客に謝意を述べられていました。

山口さんは山口中央高校、早稲田大学フランス文学科卒。一昨年同高校の同窓会「かなめ会」の総会で歌声を披露され好評を博したことから、コンサート開催の運びになりました。

芸術の秋、山口さんの艶やかで美しい歌声が満席の会場にこだまして、「歌声が素敵」「初めて生のシャンソンを聴いた」「素敵な時間が持てた」と、ご来場された皆さんが笑顔で会場を後にされる姿が印象に残るとても素晴らしいコンサートでした。

（幹事 仙田達夫/記）

**山口蘭子ふるさとコンサート 2017**  
～山口の空の下 シャンソンは流れる～

山口蘭子 シャンソンの女王  
パトリック・ヌジェの  
アコーディオンと1手弾きの  
ピアノ編成とともに  
唄う  
パリの大人  
門外漢のトピックスは流れる  
セ・シ・ボン 萩原  
お休んで 母の誘歌  
湯田温泉 90のシャンソンステージ  
オーケストラコンサート

開催日時  
平成29年11月5日(日)  
13時15分開演 14時開演  
会場 カリエント山口  
(山口県防人教育文化会館)  
山口県湯田温泉5-1-1  
電話：083-922-2792

公演：3,800円（空席自由席）

主催：山口蘭子ふるさとコンサート実行委員会  
協賛：(一社)日本シャンソン協会、山口新聞社、山口毎日紙  
山口七夕会、宇都宮事務所、(公財)防長俱樂部  
チケット申込み：カワイショップ(083-924-5955)山口市民会館 (083-923-1000)  
山口情報センター(083-901-2222)、五軒産直所 山口(083-922-5357)  
取材 090-7130-1836 090-4350-8718



<最新ライブ情報【2018年】><<2月>>

◆2月12日(月)新宿・シャンパーニュ 祭日コンサート  
(03-3354-2002)

新宿区新宿 1-34-11(B1F)  
ステージ(PM7:00～、8:30～)  
Vocal: 山口蘭子、他  
ピアノ: 永縄真百合

## 東京でやまぐちフェスタ2017「三茶で食べちゃろ祭り」に参加して！【東京】

10月14日(土)、10月15日(日)と二日間、東京都世田谷区太子堂三軒茶屋ふれあい広場で山口観光物産展と山口県ゆかりの方々のパフォーマンスの会が開催された。

山口七夕会東京本部としては、山口市の出店者の方々のお手伝いの大きな声を張り上げ、「麦みその味をどうぞ～！！」、「ポルポロン、スペインのお菓子はいかがですか～！」、「山頭火と名付けたお酒の試飲はいかがですか！？」とふるさと製品の販売、PRに協力した。

また、会場におけるパフォーマンスでは、1日目の14日(土)は山口維新キャラバン隊の「歴史パフォーマンス」、ザーキー岡の「バルーンパフォーマンス」、歌手水森かおりの「ミニステージ」と会場は大いに盛り上がった。

2日目の15日(日)は寒い日となったが、サボテンブラザーズの「ラテン系アコースティックライブ」、防長倶楽部女性会員、さらら会コーラスによる「合唱」、さらに二胡奏者・真真(しんしん)さんの「二胡ライブ」と前日同様、大いに盛り上がった。

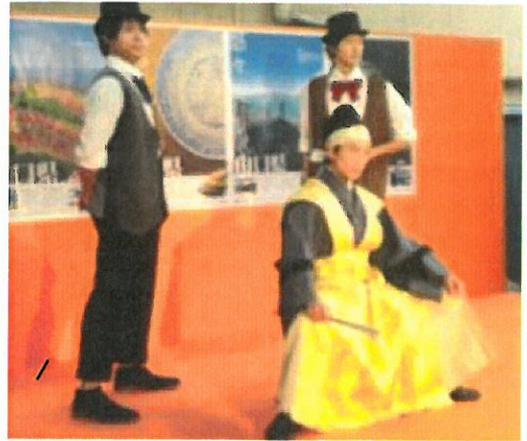
三軒茶屋にお住まいの方々、関東在住の山口県人の方々から、「麦の味がするみそは本当においしいね！」、「ポルポロンって、どんなお菓子？」、「私はスペインに住んでいたのよ。」、「このお菓子はよく知っているわよ。」、「山頭火の大吟醸はのど越しがスーとして飲みやすいね！」、「温泉スプレーで美しくなれるかしら！？」、「ごまのおからは香りがいいわね～！」、「大内塗のペンダントはステキ！！」等々の声が寄せられ、山口県の物産品は飛ぶように売れた。

2日目のお昼ごろには、品切れが相次ぎ、夕方5時にはほとんどの店が完売となり、「三茶でやまぐち食べちゃろ祭り」は大盛況だった。

会場においでになった世田谷区長からも、「山口県民のパワーの凄さに驚いた！」とお言葉をいただいた。

このような形で、故郷山口の祭りに関わり、多くの人々とふれあい、ふるさと山口を知っていただけたことは大変うれしく、一緒に参加された皆様に感謝したいと思います。

(幹事 本多圭子/記)



<幕末維新キャラバン隊>



<とくち味噌>



<金光酒造(山頭火)>



<谷口漆香堂(大内人形)>



<湯田温泉旅館協同組合>

## ＝大人の社会科見学「防衛省」(お知らせ)＝ 市ヶ谷地区見学(市ヶ谷台ツアー)先着20名

日 時 平成30年3月27日(火) 13:10集合～16:00解散(予定)

※解散後希望者で、反省会を兼ねた懇親会を開催します。<当日募集>

集合場所 〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1

防衛省正門面会受付所前

### 【見学の概要】

市ヶ谷地区内に所在する庁舎や、極東国際軍事裁判(東京裁判)の法廷となった大講堂などを移設・復元した市ヶ谷記念館を御案内しています。

そのほか、午後のツアーでは、月曜日から木曜日までは陸海空各自衛隊の装備品を展示する広報展示室を、金曜日は防衛研究所が保管する戦史史料の見学を御案内しております。

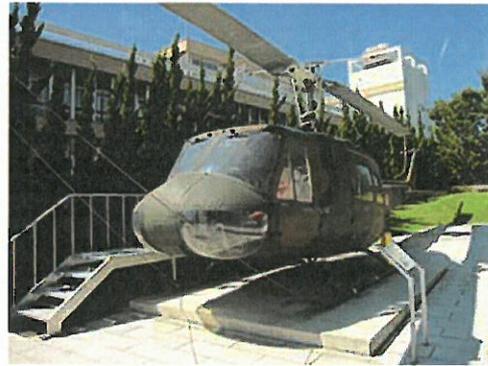
※防衛省勤務の宮木会員(航空自衛隊一等空佐)に見学から懇親会まで同行いただきます。

### ○ 午後

正門 → 儀仗広場(西側) → 市ヶ谷記念館 → 屋外ヘリ展示場 → 厚生棟(広報展示室(※注) → 1階で見学・休憩) → 儀仗広場(東側) → 正門



<市ヶ谷記念館>



<屋外ヘリ展示場>

## ＝お花見ウォーク参加募集!(お知らせ)＝

日 時 平成30年3月31日(土) 9:00集合

集合場所 靖国神社・大村益次郎公銅像前 → 靖国神社・参拝(希望者) →  
→ 千鳥ヶ淵 → 戦没者墓苑 → 飯田橋 → 都立小石川後楽園 → 不忍池 →  
→ 上野公園 = お花見散策 → 西郷隆盛公銅像前/ゴール  
→ 鳥光園上野テラス店(宴/予定)

懇親の宴 鳥光園上野テラス店(宴/参加費5千円程度/予定)



<大村益次郎公銅像>



<西郷隆盛公銅像>

## 進め山口 気持ちはひとつ！ -J1への片道切符発売中-

今年も間もなく、我らがレノファ山口のJ1昇格をかけた戦いが始まります。昨年は東京本部役員の大田宗さんが、七夕会の旗を携え岐阜での開幕戦に駆けつけた他、シーズン終盤のJ2残留をかけた調布と町田での試合でも、多くの山口七夕会(以下、「七夕会」)会員が声援を送りました。



今年は甲府、大宮、栃木がJ2に加わり、水戸、千葉、町田、横浜FC、東京Vとあわせ、首都圏での試合が目白押しです。とはいえ首都圏での試合ではアウェイとなるレノファ山口。そのレノファ山口を一丸となって応援すべく、この1月11日に開催された、レノファ山口東京サポート隊(仮称)、山口県東京営業本部、七夕会東京本部(中嶋会員、御前会員、相山)との合同ミーティングに参加しました。そして捲土重来を期す今シーズン、首都圏でレノファ山口を盛り上げる新たな応援グループを立ち上げ、様々な活動を展開しようということで意見が一致しました。

まずは2/25(日)の維新みらいふスタジアムでの開幕戦観戦が難しい首都圏のファンのために、都内の福の花さんでパブリックビューイングを行う計画が進行しています。詳細は七夕会のホームページなどでもご案内していきますが、首都圏での試合への「ちよるる」の参戦や貴重なピッチ見学など、より多くの方に観戦していただくきっかけとなるよう、企画にも知恵を絞っていきます。一人ひとりの応援がレノファを強くします。皆さんの観戦、参戦を宜しくお願いします。「進め山口 気持ちはひとつ 共に戦おう 勝利のために！」



<左から:幹事/東京本部長 相山俊哉、東京本部 大田 宗>

(幹事/東京本部長 相山俊哉)

## =法人会員(年会費1万円)を募集しています! =

~山口七夕会では、財政基盤の確立と組織の拡大のため、法人会員を募集しています!~

山口七夕会では、事業年度内に3回、会員のみなさまに「山口七夕会通信」や市報「やまぐち」などの情報をお届けしています。現在、会員数は398名ですが、法人会員のみなさまは、**事業年度内に1度、チラシやパンフレットなどを同封してダイレクトメールとしてご活用いただくことができます。**(単純に計算しますと、切手82円\*398名=32,636円のコストが年会費1万円の法人会費に含まれることとなります。)

次の会員への「山口七夕会通信」などの発送を6月に予定しています。既に法人会員に登録されている方で、チラシ等の同封を希望される場合は、5月末までに下記事務局までご連絡ください。**また、新規に法人会員を募集しますので、会員のみなさまの関係者やご懇意の法人様の紹介をよろしくお願ひします。**

お問い合わせ、申し込みは、以下の事務局をお願いします。

山口七夕会 幹事長 山縣 正彦

◇山口市七夕会事務局(山口市企画経営課内)担当:三浦  
〒753-8650 山口市亀山町2番1号  
TEL:083-934-2746/FAX:083-934-2642

<参考:会員数の推移>

年度	会員数(人)	山口	
平成21年度	252	—	
平成22年度	244	—	
平成23年度	270	14	山口支部
平成24年度	280	38	
平成25年度	326	80	山口本部
平成26年度	354	109	
平成27年度	363	119	
平成28年度	384	146	
平成29年度	390	151	
平成30年1月23日現在	398	157	

参考

平成30年1月23日現在

平成28年度入会者	
NO	氏名
1	小川 昌子
2	佐々木 澄子
3	吉原 真也
4	渡辺 祥子
5	花柳 寿寛福
6	小坂 大輔
7	江藤 美知子
8	縄田 和子
9	山下 みよ子
10	窪川 耕太郎
11	澤山 裕
12	金谷 浩一郎
13	古屋 四朗
14	河村 行則
15	古賀 武陽
16	阿武 義人
17	阿武 幸美
18	中村 悌二
19	高屋 修治
20	河瀬 真人
21	後藤 聖治
22	秋草 史幸
23	吉田 正治
24	和田 幸子
25	矢吹 信子
26	長谷川 貞子
27	久富 宏大
28	浦前 忠彦
29	湊 和久
30	湊 由己
31	中村 洋爾
32	馬越 帝介
33	原 真也
34	村光 伸介
35	田村 真
36	後藤 智数
37	福光 美保
38	熊谷 龍夫
39	松前 芳道
40	宮本 誉史
41	島田 信幸

平成29年度入会者	
NO	氏名
1	戸田 脩司
2	本多 圭子
3	坂本 史子
4	大田 忠
5	荒瀬 ひろみ
6	佐本 敏朗
7	中嶋 唯雄
8	松田 和洋
9	野田 泰裕
10	大矢 徹
11	永田 明生
12	藤沢 美由紀
13	内田 憲雄
14	関 美和
15	中村 裕美子
16	吉光 虹太
17	岡本 達也
18	小谷部 節子
19	柳 智子
20	末岡 泰子
21	阿比留 真二
22	三浦 薫
23	平野 一枝
24	柏木 享

平成29年度法人会員	
1	村重酒造株式会社
2	山口日産自動車株式会社
3	秋穂石材株式会社
4	旭水産有限公司
5	情熱ホルモン山口酒場(株式会社 ヒューマンティール)
6	株式会社 常盤旅館
7	株式会社 地域情報新聞
8	株式会社 毎日メディアサービス山口 周南支社
9	株式会社 技工団
10	日和協同組合
11	企業組合 アグリアートジャパン
12	金光酒造株式会社
13	有限会社劇団角笛
14	オンガネジャパン株式会社
15	一般社団法人平成の萩往還・中山間地振興をめざす会
16	山城屋酒造株式会社
17	マルシフードサービス株式会社
18	社会福祉法人 青藍会
19	株式会社セブシステム